



重点分野2 (中目標)	環境保全												
開発課題 (小目標) 環境保全	【現状と課題】 セルビアでは、EU加盟に向けて、環境保充分野でEUが定める様々な基準を達成するための更なる取組が喫緊の課題となっている。			【開発課題への対応方針】 大気・水質汚染対策や廃棄物管理、再生可能エネルギー、省エネ等の分野において、我が国の技術及び知見を活用した支援を行う。									
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
	環境保全 プログラム 大気・水質汚染対策や廃棄物管理、再生可能エネルギー、省エネ等、環境問題の解決に向けた各種支援を実施する。		ニコラテスラ火力発電所排煙脱硫装置設置計画	有償	2022年度以前	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	282.52	13	
			再生可能エネルギーの大量導入に備えた電力系統安定化	国別研修								7,13	
			廃棄物管理能力向上プロジェクト	技プロ							2.20	9,12	
			ベオグラード市公共交通改善プロジェクト	技プロ							3.20	11	
			防災・災害対策分野並びに環境分野のJICA海外協力隊	JOCV								15	
			パンチェボ市における産学官民の協働による環境改善推進事業	草の根技協							0.53	13,15	
			環境分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.49	13,15	
			環境保充分野の課題別研修	課題別研修他							13,15		

重点分野3 (中目標)	経済社会サービスの向上													
開発課題 (小目標)  経済社会サービスの向上プログラム	【現状と課題】 セルビアでは都市部と地方部との間の経済社会サービスの格差が課題となっており、それら格差の是正に向けた更なる取組が必要である。				【開発課題への対応方針】 教育分野及び保健医療分野を中心に、それぞれの分野での新政策を念頭に置きつつ、社会的弱者が直接裨益する支援を行う。									
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	
						2022 年度 以前	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度			
			障害児及び障害者支援、日本語教育・スポーツ分野のJICA海外協力隊	JOCV		■■■■■■■■■■							3,4	
			セルビアベオグラード市コミュニティレベルにおける知的障害者の自立を支援する事業	草の根技協		■■■■■■■■■■						0.11	3	
			経済社会開発計画	無償		■■■■■■■■■■						1.00	3	
		教育分野及び保健医療分野を中心に、社会的弱者に直接裨益する支援を含め、格差是正支援を実施する。	教育分野・保健医療分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償		■■■■■■■■■■						1.48	3,4	
			教育分野・保健医療分野の課題別研修	課題別研修他		■■■■■■■■■■							3,4	

【凡例】 「協準」（＝全ての協力準備調査）、「詳細設計」（＝詳細設計）、「基礎情報調査」（＝基礎情報収集・確認調査）、「技プロ」（＝技術協力プロジェクト）、「開発計画」（＝開発計画調査型技術協力）、「個別専門家」、「個別機材」、「個別研修」、「課題別研修他」（＝課題別研修及び青年研修、長期研修）、「JOCV」（＝JICA海外協力隊）、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」（＝科学技術協力（技プロ型及び個別専門家型、SATREPS））、「草の根技協」（＝草の根技術協力）、「〇〇省技協」（＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力）、「民間提案型技協」（＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業）、「SDGs調査」（＝途上国の課題解決型ビジネス（SDGsビジネス）調査）、「無償」（＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力）「食糧援助」（＝食糧援助）、「一般文化」（＝一般文化無償資金協力）、「草の根文化」（＝草の根文化無償資金協力）、「緊急無償」（＝緊急無償資金協力）、「日本NGO」（＝日本NGO連携無償資金協力）、「草の根無償」（＝草の根・人間の安全保障無償資金協力）、「有償」（＝円借款、海外投融資）、「マルチ」（＝国際機関等を通じた多国間協カスキーム）、「基礎調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」）、「案件化調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」）、「普及・実証・ビジネス化事業」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」）、「ニーズ確認調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「ニーズ確認調査」）、「ビジネス化実証事業」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「ビジネス化実証事業」）、「実線「――」（＝実施期間）、「破線「----」（＝実施予定期間） ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。

【SDGsゴールの説明】 1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」、14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」

【SDGsの詳細】 [https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs\\_pamphlet.pdf](https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf)